

2014年度 バオバブ福祉会 えるで

生活介護部門

～メンバーそれぞれの個性、生き方に寄り添い、

多様なニーズをくみとった支援を行う～

☆2013年度【個別支援計画】テーマ

家庭の生活環境等も含め、ニーズをくみとり、支援計画に反映させる。

☆2013年度をふりかえって（成果が出たこと。課題として残ったこと。）

- ・ 希望するメンバー・家族のすべてと、個別面談や家庭訪問をおこなえた。
- ・ 面談や訪問の中で、成育歴に関することや家族の思いをくみとることができた。
- ・ 支援計画の立案や様式を変更し、スムーズになった。
- ・ メンバー自身の思いやニーズのくみとりがむずかしい。
- ・ サービス担当者会議において、スタッフ間の意見交換が不十分だった。
- ・ フェイスシート・アセスメントシートの更新が行われていない。

☆2014年度【個別支援計画】テーマ

家庭の生活環境等も含め、個別面談や訪問でニーズをくみとり支援計画に反映させる。

☆2014年度テーマを達成するための重点課題

- ① メンバー・家族のニーズを反映した支援計画の作成。
- ② サービス担当者会議の充実と支援計画に沿った支援の実行。
- ③ ケース台帳を整備し、フェイスシート・アセスメントシートの更新を行う。

☆2014年度重点課題を達成するための具体的な方策

- ① メンバーの思いやニーズをくみとるため、面談等に工夫をおこなう。
家庭での様子や、家族の思いをくみとるため、訪問や面談をおこなう。
- ② サービス担当者会議において、スタッフ間の意見交換が活発になるように、会議の持ち方を工夫する。
個々のスタッフが、日頃よりメンバー・家族のニーズをくみとろうという姿勢をもち、支援計画にそった支援をおこなう。
- ③ 面談等を行った際、そのつどフェイスシート・アセスメントシートの情報の更新をおこなう。

○生活介護部門【日中活動、生活支援、クラブ活動（個人活動班支援を含む）】
当（作成）者 【平井、坂本】

☆2013年度【日中活動、生活支援、クラブ活動】テーマ

～元気にいきいきと毎日をすごせるように、健康と安全に配慮し支援を行い、楽しんで参加できる活動を取り入れる～

☆2013年度をふりかえって（成果が出たこと。課題として残ったこと。）

- | | |
|---------|---|
| （日中活動） | ・計画して取り組んだことにより、グループ活動（音楽・創作・ゲーム・スポーツ）と菜園活動を行うようになった。 |
| （生活支援） | ・計画して取り組んだことにより、D班活動が日課として行えるようになった。
・昼食後の仕上げ磨きを支援している。 |
| （クラブ活動） | ・メンバーの高齢化または肥満により、体力・身体の機能が低下してきている。
・クラブ活動を楽しく行うことができた。
・メンバーだけではクラブ活動の行き先や内容の意見が出にくい。 |

☆2014年度【日中活動、生活支援、クラブ活動】テーマ

～元気にいきいきと毎日をすごせるように、健康と安全に配慮し支援を行い、楽しんで参加できる活動を取り入れる～

☆2014年度テーマを達成するための重点課題

- | | |
|---------|--------------------------------------|
| （日中活動） | ①継続してグループ活動・D班活動を行っていくとともに、内容を充実させる。 |
| （生活支援） | ②メンバーの高齢化または肥満に伴い、安全面や健康面により配慮していく。 |
| （クラブ活動） | ③クラブ活動を引き続き、安全に楽しく行う。 |

☆2014年度重点課題を達成するための具体的な方策

- | | |
|---------|--|
| （日中活動） | ①・メンバー全員が参加しやすく、楽しめる内容を考えていく。
・スタッフで話し合った計画をもとに、D班活動を継続して行う。 |
| （生活支援） | ②・家族さんと連携してメンバーの体調の変化に気をつける。
・メンバー1人1人の健康面や安全面に配慮し、その人に合った個人活動の内容を検討していく。
・歯磨きを自分で綺麗に磨けるように、声かけや支援を継続して行う。 |
| （クラブ活動） | ③・メンバーの意見を大切にし、楽しい活動にする。
・メンバーの体調面や気温に配慮し行き先を一緒に考える。 |

☆2013年度【相談支援】テーマ ～メンバーを取り巻くあらゆる環境の変化に気づく～

☆2013年度をふりかえって（成果が出たこと。課題として残ったこと。）

- ・ 支援計画の説明時に、面談・訪問を行ったことで、相談をうける機会がふえた。
- ・ 表出された相談に関しては対応し、必要に応じて、いこなど連携できた。
- ・ メンバー・ファミリーとの信頼関係の構築が不十分だった。
- ・ 表出されていないものへの気づきが不十分で、スタッフから積極的なはたらきかけが、できていない。

☆2014年度【相談支援】テーマ ～メンバーを取り巻くあらゆる環境の変化に気づく～

☆2014年度テーマを達成するための重点課題

- ① メンバー・ファミリーとの信頼関係を構築し、あらゆる相談に対応する。
- ② 潜在している問題への気づきができ、問題解決へ迅速に対応できる。
- ③ 苦情解決への迅速な対応をする。

☆2014年度重点課題を達成するための具体的な方策

- ① 支援計画等(あらゆる機会)で、面談・訪問の機会を設け、相談しやすい状況環境を整える。
- ② いこなどの連携、関係者からの情報収集。
- ③ 問題の整理と改善点の周知と実行。

☆2013年度【給食】テーマ

～それぞれの嗜好や”食べる”を大切にしながら、栄養管理、健康管理に努める～

☆2013年度をふりかえって（成果が出たこと。課題として残ったこと。）

- ・ 食中毒の発生はなかったが異物混入は数件見られた。給食提供時の不手際が原因。
- ・ ミキサー食、きざみ食、分量調整など、メンバーそれぞれの”食べ方”に対して、可能な限り対応することができた。
- ・ 糖尿食はこれまで単調なメニューであったが、給食業者、調理員と相談しながら、メニューや味付けに工夫を凝らすことができた。

☆2014年度【給食】テーマ

～それぞれの嗜好や”食べる”を大切にしながら、健康管理に努める～

☆2014年度テーマを達成するための重点課題

- ① 安全で、安心して食することができる給食の提供
- ② 単に”食べる”だけでなく、”楽しく美味しく食べる”ことができる雰囲気作り
- ③ メンバー個々の健康面、栄養面を配慮した給食の提供に努める。

☆2014年度重点課題を達成するための具体的な方策

- ① えるでと、給食業者、調理員が各々の立場で連携しながら、食中毒や異物混入といった事故防止を徹底する。検食の重要性。
- ② メンバーにとって、給食の時間が楽しいと思えるような支援の工夫を考えたい。
- ③ 肥満や高血圧、体重増などが気になるメンバーに対して、味付けや分量などで配慮した給食を提供する。

